

2019年度 大阪薬科大学 「実務経験のある教員による授業科目」における「実務経験を活かした実践的教育内容」

配当 年次	薬 科	科目名	担当教員 (実務家教員)	実務経験	実務経験を活かした実践的教育内容
1	●	薬学入門	松村人	医師	大学附属病院での臨床医、薬剤師実務経験を活かし、薬学と薬剤師に関する本質的な事柄や、医療の担い手として備えておくべきヒューマニズムについて考えさせ、今後の本学における勉学に対する心構えを指導する。
			中村任	薬剤師	
			中村敏	薬剤師	
			角山	薬剤師	
	●	機能形態学1	大野	企業等の研究者	企業での薬理学の研究経験を活かし、企業での生化学の研究経験を活かし、各器官系の構造と機能および生体のダイナミックな調節機構に関する基本的知識を指導する。
			藤森	企業等の研究者	
	●	早期体験学習1	中村敏	薬剤師	臨床での薬剤師実務経験を活かし、患者・生活者本位の視点に立つ医療人として果たすべき役割への理解を促し、入学後の早い時期に病院や薬局などの医療施設での薬剤師および薬学出身者の活躍する現場の見学体験を通して、学習に対するモチベーションを高める。
			井上薫	薬剤師	
			角山	薬剤師	
			羽田	薬剤師	
	●	早期体験学習2	松村人	医師	大学附属病院での臨床医、薬剤師実務経験を活かし、医療現場で使用されているさまざまな技能・手技等を体験することを通じた医療に対する理解を深めさせ、また、グループでの体験学習により、チーム内でのコミュニケーション、情報のやり取り、チームワークの大切さ等を指導する。
			林哲	医師	
			中村敏	薬剤師	
			井尻	薬剤師	
			角山	薬剤師	
	●	医療人マインド	中村敏	薬剤師	大学附属病院での薬剤師実務経験を活かし、大阪医科大学医学部生、看護学部生と3学部が連携した学びの場を提供し、医療に関わる専門職種としての役割・機能について指導する。
角山			薬剤師		
2	共通科目	生化学3	福永	企業等の研究者	国内や海外の研究機関での生化学・分子生物学の研究経験を活かし、生命情報を担う遺伝子の複製、発現と、それらの制御に関する基本的事項を指導する。
	共通科目	微生物学	駒野	医師・企業等の研究者	公的研究機関や病院機構での微生物学の研究および臨床経験を活かし、微生物全般についての基本的事項を指導する。
	共通科目	機能形態学2	大野	企業等の研究者	企業での薬理学の研究経験を活かし、機能形態学1に続き、各器官系の構造と機能および生体のダイナミックな調節機構に関する基本的知識を指導する。
	共通科目	分子細胞生物学 (2018年度以降入学生適用)	福永	企業等の研究者	国内や海外の研究機関での生化学・分子生物学の研究経験を活かし、ホルモンなどの生理活性分子の生成機構や分解機構についての基本的事項、細胞内シグナル伝達機構に関する分子レベルでの理解やがん遺伝子の作用発現機構に関する基本的事項を指導する。
	共通科目	専門職連携医療論	中村敏	薬剤師	大阪医科大学医学部生、看護学部生と3学部が連携した学びの場を提供し、各専門職種の意義と価値の理解、各々の立場と活動および患者を尊重する重要性について学ばせ、それを実践する具体的方策の考察において、臨床での薬剤師としての実務経験を活かした指導を行う。
			角山	薬剤師	
	共通科目	病態生化学 (2018年度以降入学生適用)	藤森	企業等の研究者	企業での生化学の研究経験を活かし、「恒常性の維持(ホメオスタシス)」の破綻により発症する各種疾患の発症の原因、進展機序について生化学の見方から、疾患および病態の成り立ちについて細胞および分子レベルで指導する。
	共通科目	薬物治療学1	林哲	医師	大学附属病院での臨床医としての実務経験を活かし、代表的な各疾患の病態生理と薬物治療についての基礎的知識の教育を行う。
	共通科目	薬物治療学2	松村人	医師	大学附属病院での臨床医としての実務経験を活かし、臨床薬剤師として医療に携わるための代表的な疾病とその病態など薬物治療に関する基本的知識を修得させるため、医師としての実務経験を活かした指導を行う。
共通科目	生物学実習	駒野	医師・企業等の研究者	公的研究機関や病院機構での研究および臨床経験を活かし、生体試料や培養細胞を用いた実習を通じて、タンパク質を中心とした生体成分および細胞の基本的な機能に関する基本的知識、技能、態度を指導する。	
3	共通科目	分子細胞生物学 (2015～2017年度入学生適用)	福永	企業等の研究者	国内や海外の研究機関での生化学・分子生物学の研究経験を活かし、ホルモンなどの生理活性分子の生成機構や分解機構についての基本的事項、細胞内シグナル伝達機構に関する分子レベルでの理解やがん遺伝子の作用発現機構に関する基本的事項を指導する。
	共通科目	病態生化学 (2015～2017年度入学生適用)	藤森	企業等の研究者	企業での生化学の研究経験を活かし、「恒常性の維持(ホメオスタシス)」の破綻により発症する各種疾患の発症の原因、進展機序について生化学の見方から、疾患および病態の成り立ちについて細胞および分子レベルで指導する。
	共通科目	薬理学3	大野	企業等の研究者	企業での薬理学の研究経験を活かし、薬物作用の標的となる臓器・組織の機能、形態、疾患時の病態を理解し、各種治療薬の薬理作用と作用機序に関する基本的知識を指導する。
	共通科目	薬物治療学3	井尻	薬剤師	大学附属病院での薬剤師実務経験を活かし、厚労省重篤副作用疾患別対応マニュアル作成委員である経験を活かし、薬効のみに留まらず、相互作用、副作用や使用上の注意等に関する知識を身につけて適正な薬物治療に参画できるようにするための基本的な知識や考え方を指導する。
	共通科目	薬物治療学4	松村人	医師	大学附属病院での臨床医としての実務経験を活かし、神経・筋疾患、精神疾患等とその薬物治療に関する基本的知識を指導する。
	共通科目	医薬品情報学	中村敏	薬剤師	大学附属病院での薬剤師実務経験を活かし、臨床上の問題解決において薬剤師に求められる医薬品情報の活用に関する基本的事項を指導する。
	角山		薬剤師		
	共通科目	生物科学実習	福永	企業等の研究者	国内や海外の研究機関での生化学・分子生物学の研究経験を活かし、生体分子の抽出、分析を行う実習を通じた生体および細胞を構成する基本分子の構造と基本的な機能に関する基本的知識、技能、態度を指導する。
	藤森		企業等の研究者		
	共通科目	薬理学実習	大野	企業等の研究者	企業での薬理学の研究経験を活かし、実験成績から各種薬物の作用機序を考察する力を指導し、綿密な実験計画の立て方、生物実験に避け難いデータのバラツキから、いかにして結論を導くかその技能等修得へと導く。
共通科目	薬剤学実習	宮崎	企業等の研究者	企業の研究開発部門での研究経験を活かし、実践的実習を実施する。薬物のタンパク結合測定、薬物の血漿中濃度とその解析、治療薬物モニタリング(TDM)に関する基本的知識、技能、態度を指導する。	

2019年度 大阪薬科大学 「実務経験のある教員による授業科目」における「実務経験を活かした実践的教育内容」

配当 年次	薬 科	科目名	担当教員 (実務家教員)	実務経験	実務経験を活かした実践的教育内容
4	●	臨床薬物動態学	宮崎	企業等の研究者	企業の研究開発部門での研究経験、大学附属病院での薬剤師実務経験を活かし、薬物動態学(PK)と薬力学(PD)の関係(PK-PD)、生理機能変化による体内動態の変動予想、統計学的手法を応用したポピュレーションファーマコネクティクス(PPK)、PK-PDに基づく治療薬物モニタリング(TDM)に関してアクティブラーニングの手法を用いて実践的な能力の修得を目指して学修させる。
			中村任	薬剤師	
	●	アドバンスト薬物治療学1	松村人	医師	大学附属病院での臨床医、薬剤師実務経験を活かし、薬剤師にとって重要であるが理解が難しい医療上の項目について、発展的内容を学修させるため、医師・薬剤師としての実務経験を活かした指導を行う。
			林哲	医師	
			井尻	薬剤師	
	●	医療薬剤学	中村任	薬剤師	大学附属病院での薬剤師実務経験を活かし、チーム医療の基礎的知識を指導する。また、「実務実習事前学習」で示されている講義項目の一部であることを踏まえ、医療の担い手としての倫理、医療現場における薬剤師業務、薬剤管理指導業務、医薬品管理、院内製剤、および院内感染対策(感染制御)について指導する。
			内田	薬剤師	
	●	個別化医療	井尻	薬剤師	大学附属病院での薬剤師実務経験を活かすとともに、厚生省重篤副作用疾患別対応マニュアル作成委員である経験を活かし、医薬品適正使用についての基本的知識について講義を行い、「予測・予防の医療」、「精密医療(Precision Medicine)」、「治療的薬物マネジメント(Therapeutic Drug Management)」について指導する。
	●	医薬品情報演習	中村敏	薬剤師	大学附属病院での薬剤師実務経験を活かし、臨床現場における様々な課題解決に必要な医薬品情報の収集・評価・加工・提供・管理について、具体的な模擬事例を通して技能を修得させる。
			角山	薬剤師	
	●	病態・薬物治療学演習 (2015～2017年度入学生適用)	松村人	医師	大学附属病院での臨床医、薬剤師実務経験、企業での生化学の研究経験、公的研究機関や病院機構での研究および臨床経験を活かし、あらかじめ準備する演習課題(臨床症例問題等)をSGD形式で解決するにあたり、論理的な思考により解決策を見出させる。
			林哲	医師	
			藤森	企業等の研究者	
			駒野	医師・企業等の研究者	
			井尻	薬剤師	
			内田	薬剤師	
			●	臨床導入学習1	
	小森	薬剤師			
	脇條	薬剤師			
	中村任	薬剤師			
中村敏	薬剤師				
井上薫	薬剤師				
岡田	薬剤師				
神林	薬剤師				
和田恭	薬剤師				
角山	薬剤師				
内田	薬剤師				
羽田	薬剤師				
●	臨床導入学習2	脇條	薬剤師	臨床での病院・薬剤師実務経験、薬局薬剤師実務経験などを活かし、「病院・薬局実務実習」のための準備学習であることを踏まえ、薬物療法・チーム医療・地域保健医療の基本的な知識・技能・態度を指導する。	
		金	薬剤師		
		小森	薬剤師		
		中村任	薬剤師		
		中村敏	薬剤師		
		井上薫	薬剤師		
		岡田	薬剤師		
		神林	薬剤師		
		和田恭	薬剤師		
		角山	薬剤師		
		内田	薬剤師		
		羽田	薬剤師		

2019年度 大阪薬科大学 「実務経験のある教員による授業科目」における「実務経験を活かした実践的教育内容」

配当 年次	薬 科	科目名	担当教員 (実務家教員)	実務経験	実務経験を活かした実践的教育内容
5	●	- 病院実務実習	中村敏	薬剤師	臨床での病院・薬剤師実務経験、薬局薬剤師実務経験などを活かし、臨床(病院)に係る実践的能力を持つ薬剤師を養成するため、参加型実務教育に係る指導を行う。
			中村任	薬剤師	
			金	薬剤師	
			小森	薬剤師	
			脇條	薬剤師	
			井上薫	薬剤師	
			岡田	薬剤師	
			神林	薬剤師	
			和田恭	薬剤師	
			角山	薬剤師	
			羽田	薬剤師	
5	●	- 薬局実務実習	中村任	薬剤師	臨床での病院・薬剤師実務経験、薬局薬剤師実務経験などを活かし、臨床(薬局)に係る実践的能力を持つ薬剤師を養成するため、参加型実務教育に係る指導を行う。
			金	薬剤師	
			小森	薬剤師	
			脇條	薬剤師	
			井上薫	薬剤師	
			岡田	薬剤師	
			神林	薬剤師	
			和田恭	薬剤師	
			角山	薬剤師	
			羽田	薬剤師	
			6	●	
- 臨床薬剤学	井尻	薬剤師			大学附属病院での薬剤師実務経験を活かすとともに、厚労省重篤副作用疾患別対応マニュアル作成委員である経験を活かし、薬物療法の個別化に貢献できるようになるための基本的項目の指導する。
- 医薬品情報評価学	林哲	医師			大学附属病院での臨床医、薬剤師実務経験を活かすとともに、厚労省重篤副作用疾患別対応マニュアル作成委員である経験を活かし、医療現場での実際的话题を提供することを通じ、医薬品情報を有効利用できる知識を指導する。
	井尻	薬剤師			
- 病態・薬物治療学演習 (2014年度以前入学生適用)	松村人	医師			大学附属病院での臨床医、薬剤師実務経験を活かすとともに、厚労省重篤副作用疾患別対応マニュアル作成委員である経験を活かし、演習課題(臨床症例問題等)について、論理的な思考により解決策を見出させる。
	林哲	医師			
	井尻	薬剤師			